

令和6年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和7年6月11日

部	経済部	課	雇用労政課
---	-----	---	-------

施設名・所在地	函館市職業訓練センター（函館市東川町1番2号）		
設置条例	函館市職業訓練センター条例		
指定管理者名	渡島地方技能訓練協会	指定期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日
指定管理者の特別な要件	・技能検定や認定職業訓練の支援を行う市内唯一の団体 ・国家検定制度である技能検定の実施可能団体	選定区分	公募 ☐ 非公募
設置目的	技能労働者に対して職業訓練を行なうことにより、職業に必要な技能の習得及び向上を図り、職業人として有為な労働者を養成する		
設置年月	昭和47年11月13日	建設費	90,980千円
構造規模等 耐用年数	管理棟：鉄筋コンクリート造一部3階建（昭和47年度改修） 実習棟：鉄骨造2階建（昭和47年度建築，昭和54年度増築） 敷地面積：1,900.52㎡ 建物延面積：1,580.66㎡ 耐用年数：50年		
開館時間 休館日等	開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：日曜日および土曜日 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日 1月2日，1月3日および12月29日から12月31日までの日 市長が必要と認めるとき		
料金体系	利用料金制の採用 ☐ 有 ・ ☒ 無		
1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況 (1) 管理業務 ア 使用の許可等に関すること（申請受付・許可，備品等の取扱説明等） イ 維持管理に関すること（施設内外清掃・保守点検・警備・備品管理等） ウ 設置目的に資する事業の実施に関すること （ア）技能訓練や職業能力向上等の技能者人材育成に関する事業 （イ）技能検定の普及促進・実施に関する事業 エ その他市長が定める業務 （ア）報告・統計業務 （イ）利用者の要望等への対応 ほか (2) 委託事業 なし (3) 自主事業 なし			
2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績 なし			

3 市民ニーズの把握の実施状況

- ・利用団体からの意見等の聴取（随時）・・・利用団体からの聞き取り
- ・意見箱の設置（常設）

4 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

・令和6年度の月別利用者数

（単位：人，％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	323	270	304	517	255	654	501	171	171	625	166	44	4,001
稼働率	57	91	100	86	76	100	100	100	65	86	45	15	77

・年度別利用者数

←

指定期間

→

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	4,016	4,992	4,719	4,410	4,001

5 指定管理者の収支状況

←

指定期間

→

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	委託料	5,087	5,087	5,087	5,184
	計	5,087	5,087	5,087	5,184
支出	人件費	3,359	3,408	3,454	3,560
	需用費	437	371	314	288
	光熱水費	411	415	381	428
	役務費	68	70	71	69
	手数料	97	76	52	30
	委託料	228	228	228	228
	使用料	100	99	101	49
	備品購入費	18	21	0	0
	諸経費	369	399	486	532
	計	5,087	5,087	5,087	5,184
当該施設の利用者一人当たり税金投入コスト		1.0	1.1	1.2	1.3

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

月次報告により利用状況や施設の点検状況等についての報告を受けているほか、実地調査に加え、市担当者が施設に定期的に訪問し、意見交換する等、情報を共有しており、業務改善事項は特にない。

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	利用内容に応じ休館日の使用を認めるなど、施設の設置目的に沿った利用促進に努めている。また、施設の適切な維持管理を随時行っている。	経年劣化により施設の老朽化が進み、維持管理に利用者の快適・利便性に課題を抱えるが、施設の設置目的に沿い、職業能力の開発及び向上を図るため、今後においても施設の適正管理に努めたい。
サービスの質の状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	団体への利用案内など、利用促進に努めた。	常に職員の資質向上に心がけ、利用者へのサービス向上に努めるとともに、若者をはじめ優れた技能を有する人材育成のための諸事業を積極的に推進する中で、施設の設置目的に沿った利用促進に努めます。
団体の経営状況	☐ A ☒ B ☐ C	独自に収入を得ることが困難であり、補助金、助成金等に頼らざるを得ない。	経費の削減に努め、団体経営の健全化を図ってまいりたい。

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	従業員の配置等、協定書を遵守しているほか、指定管理者の構成員から施設補修の協力を得る等、効果的かつ適切な施設の維持管理が行われている。	施設の老朽化が進んでいるが、利用者が安全・快適に利用できるよう、今後とも指定管理者の構成員のノウハウや専門的スキルを活用する等、効果的かつ適切に維持管理を行っていただきたい。
サービスの質の状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	利用者アンケートのほか、施設利用団体から直接意見・要望を徴取するなど、利用者のニーズ把握や、職員の資質向上に取り組み、サービスの向上に努めている。また、団体等への利用案内など、施設の利用促進に積極的に取り組んでいるほか、優れた技能を有する人材育成事業についても積極的に展開している。	技能労働者が減少するなか、利用促進の働きかけにより、若者をはじめとした優れた技能を有する人材を育成するための事業などの利用が増加しており、平成 26 年度から利用者数が 4,000 人を超える状況が続いている。今後ともセンターの機能を P R する等、利用促進に努めていただきたい。
団体の経営状況	☐ A ☒ B ☐ C	寄付金が減少傾向にあり、厳しい経営状況ではあるが、支出抑制に努めており健全な経営と認められる。	収入の確保は難しいものと考えているが、引き続き、技能検定制度の普及等のほか、経営の健全化に努めていただきたい。

◎「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。